

第 2 次逗子市食育推進計画 令和元年度重点目標実施報告書

令和元年度の重点目標

	No.	取り組みの方向	指標	目標値	現状値
さらなる努力が必要な目標	1	1.いきいきと健康に暮らす	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を、ほぼ毎日1日2回以上喫食している市民の増加	80%	67.8%
	2	2.安心して食べられる	栄養成分表示を見て食材・食料品を購入する市民の増加	60%	45.5%
	3		地産地消を意識している市民の増加	50%	35.9%
	4	3.地域で支え合う	食育の視点を加えた事業の実施回数の増加	50回/年	38回/年
	5	4.食文化を守り伝える	旬を意識して食材・食料品を購入する市民の増加	70%	58.7%
現状を維持・向上させる目標	6	1.いきいきと健康に暮らす	朝食を欠食する市民の減少	8%以下	8.8%
	7		1日1回以上子ども（0歳～中学生）と食卓を囲む家族の増加	92%以下	91.1%
	8	3.地域で支え合う	地域の活動に参加している市民の増加	74%以上	73.1%
	9	4.食文化を守り伝える	日本の伝統料理や季節にちなんだ料理を食べる市民の増加	89%以上	88.4%

「旬を意識して食材・食料品を購入する 市民の増加」啓発実績（国保健康課）

内容	ライフステージ
小坪漁港の水産物・三浦半島の農作物の旬カレンダー作成	学童期～高齢期
三浦半島の旬の野菜を利用した冬の野菜料理教室	青年期・壮年期・高齢期
小坪の旬の海産物を使用した料理教室	青年期・壮年期・高齢期
未病センター、図書館、各料理教室等イベントでの旬カレンダーの配布	青年期・壮年期・高齢期
未病センターでの旬レシピの配布	青年期・壮年期・高齢期
学童保育での旬の野菜当てゲームの実施	学童期

重点項目を設定して

【良かった点】

- ・ 漁業協同組合やJ Aとの連携が図れた。
- ・ 既存の食育関連事業に重点課題の視点を取り入れる形で実施できた。

【課題】

- ・ 料理教室等の機会では、一度に啓発できる人数が少ない。
- ・ 実績の評価は、数値で表すことが難しい。

課題

【仕組み・体制について】

- ・情報を伝えていくためにホームページを活用しては
- ・商店街から情報発信をうまくしていく
- ・市報に旬のコーナーを作りPRしてはどうか
- ・スーパーマーケットとの連携も有効
- ・せっかく行っている取り組みが周知できていない周知していくことも食育の推進につながる

【対象者について】

- ・若い世代を中心に幅広く周知したい
- ・小さい頃から旬に触れる体験をすることが大切

【実施内容について】

- ・逗子の地域に合わせた旬の情報を伝える
- ・調理方法や購入場所など市民が取り入れやすい情報
- ・旬の食材を扱う飲食店等の紹介
- ・調理方法など市民の人が体感して実践できるように

【その他】

- ・各団体の取り組みや考えを知らせていくことが大切

今後に向けての意見

情報の伝え方

- ・旬の食材の食べ方を伝えるときに、併せて食事バランスの啓発をする

ネットを活用したサービス

- ・市内の情報網を活用し、旬カレンダーをクリックすると取り扱い店舗や調理法が見られるといったサービス
- ・アクセス数で実績が確認できる

啓発の体制整備

- ・学生のような人材をうまく活用
- ・既存のものをうまく組み合わせる

ライフステージの拡充

- ・幅広い年齢層への周知
- ・若い母親への周知
- ・全ライフステージに協力者がほしい

ライフステージ別の姿

乳幼児期	見守られる時期	• 生涯の食生活の基礎となる体験を重ねる
学童期		• 健康な心と体をつくるために必要な食の知識を学ぶ
思春期	自分をつくる時期	• 自らの健康と豊かさを求める食事を理解し選択する
青年期		• 生涯を通じて健康な体を維持し、地域とのつながりを持つ
壮年期	見守る時期 伝える時期	• 家庭の健康と豊かさを求める食環境を整える
高齢期		• 健康な体を維持し、地域の担い手として食文化を伝える

令和2年度の重点目標

	No.	取り組みの方向	指標	目標値	現状値
さらなる努力が必要な目標	1	1.いきいきと健康に暮らす	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を、ほぼ毎日1日2回以上喫食している市民の増加	80%	67.8%
	2	2.安心して食べられる	栄養成分表示を見て食材・食料品を購入する市民の増加	60%	45.5%
	3		地産地消を意識している市民の増加	50%	35.9%
	4	3.地域で支え合う	食育の視点を加えた事業の実施回数の増加	50回/年	38回/年
	5	4.食文化を守り伝える	旬を意識して食材・食料品を購入する市民の増加	70%	58.7%
現状を維持・向上させる目標	6	1.いきいきと健康に暮らす	朝食を欠食する市民の減少	8%以下	8.8%
	7		1日1回以上子ども（0歳～中学生）と食卓を囲む家族の増加	92%以下	91.1%
	8	3.地域で支え合う	地域の活動に参加している市民の増加	74%以上	73.1%
	9	4.食文化を守り伝える	日本の伝統料理や季節にちなんだ料理を食べる市民の増加	89%以上	88.4%

次年度に向けて

○重点目標の設定

○推進に向けた意見交換

- ・ライフステージごとの推進
- ・他機関や他課と連携できる内容